

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード：120202

# 基礎看護方法論 I Basic Nursing Skills I

担当教員	林 静子、中田 弘子、木森 佳子、田村 幸恵、三輪 早苗、瀬戸 清華				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	45		
Keywords	看護共通、基本技術				
学習目的・目標	【学習目的】 全ての看護実践場面に共通する基本技術について、その方法と根拠を理解するとともに実践できる 【学習目標】 1. 人間関係を構築し、対象を理解するための方法を知り、実践できる（コミュニケーション技術、観察技術） 2. 対象と看護職の安全を守るための方法を理解し、実践できる（感染管理Ⅰ・医療安全、ボディメカニクス） 3. 対象の生活環境を整える方法を理解し、実践できる（環境への援助） 4. 活動と休息を整える方法を知り、実践できる（活動と休息の援助技術） 5. 人間の身体の状態・生命徴候を把握するための方法を理解し、実践できる（観察技術）				
授業計画・内容	内容				
1	ガイダンス 1) 基礎看護方法論について 2) 看護技術とは				
2-4	コミュニケーション技術 1) 看護におけるコミュニケーションとは 2) 傾聴の技術 3) プロセスレコード（再構成）について				
5-6	感染管理Ⅰ 1) スタンダードプレコーション 2) 手指衛生、防護用具の使用				
7	ボディメカニクス技術 1) ボディメカニクスの原理				
8-9	環境への援助(1) 1) 療養生活の環境とは				
10-11	活動と休息(1) 1) 人間にとっての活動の意味 2) 体位変換				
12-13	環境への援助(2) 1) 療養環境のアセスメントと病床の整え				
14-17	観察技術(1) 1) 看護における観察とは 2) 主観的情報と客観的情報 3) バイタルサイン（呼吸・脈拍・体温・血圧）の測定				
18-21	活動と休息(2) 1) 活動のアセスメントと援助技術（歩行、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送） 2) 人間にとっての休息の意味 3) 睡眠と安楽のアセスメントと援助				
22-23	観察技術(2) 1) 意識の観察 2) 身体計測 3) 看護のための観察視点				
教科書	茂野香おる編集：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ、医学書院 任和子編集：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ、医学書院 任和子，秋山智弥編集：根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術、医学書院				
参考図書等					
評価指標	授業への参加状況10%、レポート課題20%、筆記試験70%で評価する。				
関連科目	看護学概論、基礎看護方法論Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ等				

教員から学生へのメッセージ	すべての看護実践場面に共通する基本技術を学びます。看護の技の基盤を作るためには、積極的に根拠となる知識を学び、技術の反復練習に取り組む姿勢が求められます。
---------------	---